

# 第12回 都道府県がん診療連携拠点病院 連絡協議会

## 情報提供・相談支援部会 報告

2019年5月23日(木) 13:00～17:00

国立がん研究センター新研究棟1階 大会議室

# 第12回部会での報告・共有内容

## 3. 第12回部会で取り扱う議題

- (1) がんとの共生のあり方に関する検討会の進捗と  
整備指針等で定める小児拠点病院・成人拠点病院の連携のあり方について  
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課
- (2) PDCAチェックリストに関するワーキンググループでの検討結果報告とディスカッション
- (3) 継続的研修の実施状況・運営管理体制および  
都道府県の相談支援部会の状況・構造について アンケート結果の概要

## 4. がん対策情報センターおよび各県・ブロックからのお知らせ

- (1) 地域相談支援フォーラム開催報告および開催予定
- (2) 相談員研修・国立がん研究センター認定事業について
- (3) 相談記入シートについて

## 5. 小児・成人拠点病院の情報交換

- (1) 小児がん拠点病院相談支援部会の取り組み
- (2) ブロック毎の小児・成人拠点病院の情報交換
- (3) 各ブロックでのディスカッション内容の報告とディスカッション

# PDCAに関する 情報提供・相談支援部会での取組み

# 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会\*におけるがん相談支援センターの活動の見える化、PDCAサイクルの確保に関する検討経緯

青字：部会で実施したアンケート

赤字：厚労省等への提言書作成、提言

緑字：部会内での方針・方向性の確認・共有

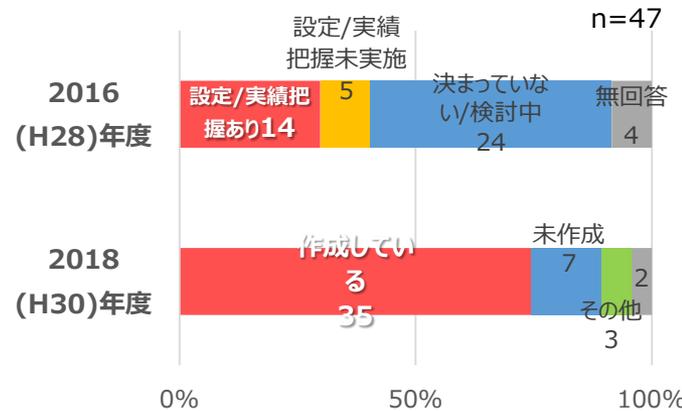
2012 (H24) 年度～2018 (H30) 年度

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会  
 情報提供・相談支援部会 資料より作成  
[https://ganjoho.jp/med\\_pro/liaison\\_council/bukai/index.html](https://ganjoho.jp/med_pro/liaison_council/bukai/index.html)

## ■現状

・部会内で方向性を確認しながら進めることで、PDCAサイクルの活動の活性化に。

## PDCAサイクルのチェックリストと作成状況



部会開催年度・回	活動の見える化・PDCAの確保に関する活動	部会内での具体的な共有物	
H24年度 第1回	全国各地の取組みの情報共有		
H25年度 第2回	相談支援センターの活動状況と担うべき役割等に関するアンケート調査の実施・報告		
H26年度 (2014)	第3回	アンケート結果を踏まえたがん相談支援センターの機能強化に関する提言 (→親会→厚労省へ)	
	第4回	がん相談支援センターの活動のPDCAサイクル確保 (活動の見える化) 等を検討する部会委員によるWGの発足 (第1期WG)	
H27年度 (2015)	第5回	相談支援センター活動見える化のWG報告・部会内での方向性確認 →部会での、相談件数カウント方法の統一、利用者調査、実施状況調査の取り組みを進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 相談支援活動指標骨子提示</li> <li>● PDCA実施状況チェックリスト (例) 提示</li> </ul>
	第6回	活動の見える化WG後の取組/利用者調査パイロットの提案	● 利用者調査パイロット実施
H28年度 (2016)	第7回	PDCAサイクルの取組状況アンケート調査の実施・報告 第3期計画に向けて相談支援センターの活動・評価について検討する部会委員によるWGの発足 (第2期WG)	
	第8回	患者や市民の解決されていないがんの困りごとに関するアンケート調査の実施・報告 アンケート結果を踏まえたWG検討報告→第3期計画への提言	● 相談件数カウント基本形式公開 (H29年3月)
H29年度 (2017)	第9回	整備指針策定への提案に向けたアンケートの実施・報告 整備指針提案に向けた検討WGの発足 (第3期WG)	
H30年度 (2018)	第10回	整備指針提案に向けたWG検討報告→整備指針への提言	
	第11回	新整備指針で新たに追加された役割の対応状況・PDCAチェックリスト取組状況のアンケートの実施・報告 新整備指针对応のPDCA実施状況チェックリストの検討 (第3期WG)	

# 新整備指針に基づいた、がん相談支援センター PDCA実施状況チェックリストの更新の提案

## 【背景】

- H29年度に、「がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するWG」への提言を検討するためのワーキンググループで、提言案を作成し、部会として（親会を経て）厚生労働省に提出した
- その中で、がん相談支援センター活動指標を提案したが、整備指針には反映されなかった
- 本部会に先立つ拠点病院向けアンケートにおいては、各都道府県においてチェックリストが策定・更新されている

## 【提案】

- 全国のがん相談支援センターが共通して取り組むべき方向を確認するため、第5回部会において合意された「がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリストの骨子」について、現状と新整備指針を踏まえて、改訂を行ってはどうか。
- 改訂を行うにあたっては、参考資料として、現状の各都道府県におけるチェックリストを資料として収集し、新整備指針への提言をとりまとめたワーキンググループメンバーに継続して検討を依頼してはどうか。

# がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト検討WG と発足の経緯

- 2017年06月：第3期がん対策推進基本計画及び整備指針等に関して意見集約が必要な事項のアンケート
- 2017年07月：第9回部会にて、新整備指針に向けた提言のとりまとめを行うWGの発足が決定
- 2017年08月：WG発足、10月までに3回のWGを実施
- 2017年10月：親会への提案書の提出
- 2017年11月：親会から厚生労働省への提案書の提出
- 2018年07月：新整備指針発出（提案したが盛り込まれなかった項目あり）
- 2018年12月：**第11回部会にて、現状と新整備指針を踏まえた「がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリストの骨子」改訂についての提案が行われ、新整備指針への提言をとりまとめたWGメンバーに継続して検討を依頼**

委員長	所属	氏名
◎	神奈川県立がんセンター	金森 平和
	秋田大学医学部附属病院	秋山 みどり
	大阪国際がんセンター	池山 晴人
	滋賀県立総合病院	岡村 理
	がん研究会有明病院	花出 正美
	愛知県がんセンター病院	船崎 初美
	岐阜大学医学部附属病院	堀川 幸男
	高知大学医学部附属病院	前田 英武
	琉球大学医学部附属病院	増田 昌人

【2回の開催とメール上での議論を実施】  
 第1回：2019年2月7日（木）  
 第2回：2019年4月19日（金）

（計9名）

## 新整備指针对応版 全50項目の提示/うち重点項目

番号	優先順位	実施状況 (案)	3段階評価 (案)
1	A	病院管理者およびがん相談支援センター管理者は、院内掲示や配布物（チラシ・診療案内・入院案内・院内広報誌等）、病院ウェブサイト等で、がん相談支援センターの窓口をわかりやすく提示し、それを定期的に見直している	3：定期的（少なくとも1年おき）に見直しの機会を設けている 2：表示をしているが、定期的な見直しの機会は設けていない 1：表示できていない
6	A	ピアサポートの場をつくっている、またはピアサポートの提供が可能な場（患者会・患者サロン・ピアサポーター等）についての情報を提供することができる	3：ピアサポートの提供が可能な場について情報収集し、希少がんや若年世代のがん等も含めて幅広く情報提供することができる 2：ピアサポートの提供が可能な場について情報収集し、主要ながんについては情報提供することができる 1：ピアサポートの提供が可能な場について情報収集していない
9	A	病院管理者およびがん相談支援センター管理者は、がん相談支援センターの役割（質の高いがん相談支援に求められる基本姿勢「Core Values」を含む）や業務を、院内スタッフに対して周知する機会（例：新人オリエンテーション・医局会等）を定期的に設けている	3：定期的（少なくとも1年おき）に実施している 2：必要に応じて随時実施している（定期的な機会は設けていない） 1：実施していない
10	A	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、がんの患者・家族等に対して、診断初期の段階から主治医等よりがん相談支援センターの案内がなされるよう院内の体制を整備している （例：リーフレットや案内カードを渡しセンターを案内するよう、各診療科長を通じて全てのがん診療を担当する医師に依頼する等）	3：体制整備に取り組んだ結果、問題なく運用できている 2：体制整備に取り組んでいるものの、運用上の課題が残っている 例：一部の診療科にしか浸透していない等 1：体制整備に取り組んでいない
18	A	基本計画や整備指針等でがん相談支援センターに新たに求められている事項や業務（例：ゲノム医療・希少がん・AYA・生殖機能等）に関連する研修（Eラーニング・集合研修）に参加している	3：専従・専任以外も含め複数の相談員が参加している 2：専従・専任の相談員のみが参加している 1：参加していない
19	A	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、相談員に対し継続的な学習の機会を保証し、参加を促している （例：研修参加や認定がん専門相談員の認定取得を促す、必要経費の支出、不在時職務代替者の調整等）	3：専従・専任以外も含め複数の相談員に対し、基礎研修修了以降も、継続的な学習の機会を保証している 2：専従・専任の相談員のみ、基礎研修修了以降も、継続的な学習の機会を保証している 1：専従・専任の相談員のみ、基礎研修修了までは学習の機会を保証している（それ以降の研修受講・自己研鑽は業務外・自費扱い）

# 新整備指針に基づいた、がん相談支援センター PDCA実施状況チェックリストの更新の提案

## 【提案】

- 「がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト」について、現状と新整備指針を踏まえて、案のとおり改訂を行ってはどうか。
- 優先順位SとA項目は、重点項目として位置付け、全国で取り組んでいくこととしてはどうか。
- また、優先順位SとA項目は、3段階評価も含めて全国で実施し、進捗要因の分析・改善策の検討に役立ててはどうか。

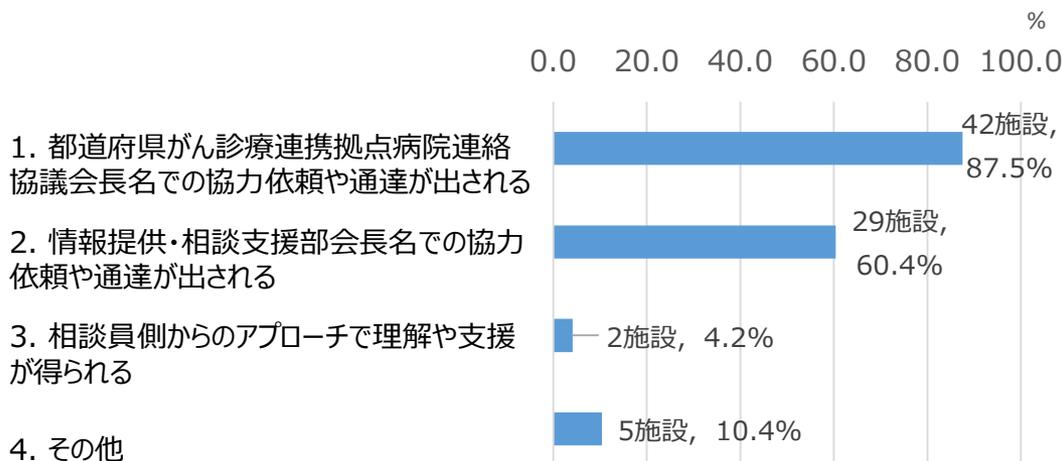
(難しい場合、3段階評価も含めて全国で実施するのはS項目のみとし、A項目は各県の実情に合わせ可能な範囲で実施する)

WGとしては、上記の内容を提案いたします。

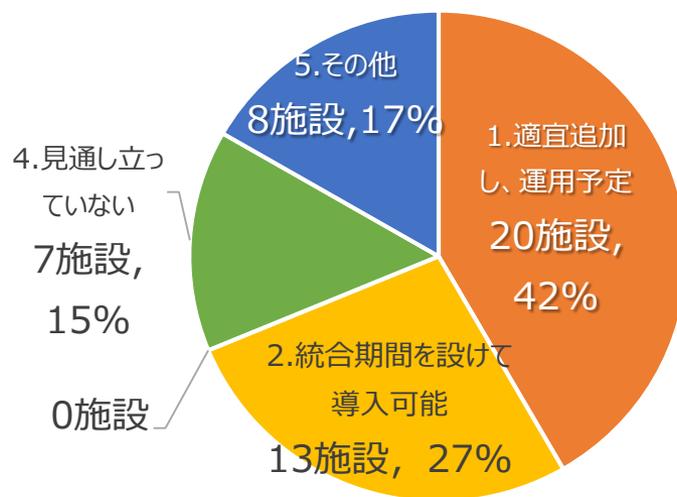
# 部会事後のアンケート結果（抜粋）：

## 部会委員・都道府県がん診療連携拠点病院（n=48）

病院管理者や相談支援センター管理者からの理解や支援を得るために、必要と思われることは？



今後のチェックリスト活用の方向性について



	n	%
■ 1. 資料5に、 <b>適宜必要項目を追加して、都道府県内で運用していく予定である</b>	20	42
■ 2. 都道府県内で作成のチェックリストに、 <b>両者の要素統合を検討する期間を経て、導入することは可能</b>	13	27
■ 3. 都道府県内で作成したチェックリストがあり、次期基本計画や整備指針の検討が始まる（2022年頃）までの間に、今回提示されたチェックリスト（資料5）を導入することはできない	0	0
■ 4. 拠点病院等からチェックリストを用いて評価をしていくことへの <b>合意が得られておらず</b> 、資料5を導入できるかの <b>見通しが立っていない</b>	7	15
■ 5. その他	8	17

# 事後アンケート結果を受けて： 情報提供・相談支援部会としての今後の進め方

## 【このたび作成した情報提供・相談支援部会チェックリストの最終版について】

- 5都県からチェックリストに関する具体的な文言修正案をいただいた。いただいた内容を参考に、7月中にチェックリスト（情報提供・相談支援部会2019年作成版）の内容を最終確定させ、公開する。

## 【チェックリストの今後の活用について】

- 公開後のチェックリスト（情報提供・相談支援部会2019年作成版）は、各都道府県の現状をふまえ、必要に応じて自由に活用していただくこととする。
- チェックリストのうち一部の項目を全国で統一して使用し、進捗状況の把握や評価に用いることに関しては、現状保留とし、継続検討課題とする。

# 事後アンケート結果を受けて： 情報提供・相談支援部会としての今後の進め方

## 【チェックリストを各県内で活用しやすくするために】

- 新整備指針に書かれたがん相談支援センターの業務について、チェックリストに記載の項目（特に管理者が主語となる項目）を実質的に機能させるためには、各拠点病院の幹部の支援・協力が必要である。

## 【都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会へのご依頼】

- 各都道府県の部会において、順次“施設管理者”が実施するPDCAチェックリストが検討・協議されます。都道府県拠点の皆様には、現在の進捗についてお知りおきいただき、各都道府県の実情に合わせて、ご支援・ご協力をお願いいたします。
- また今後、情報提供・相談支援部会では、全国で一部項目を統一して用いることも検討しています。その際には、各都道府県内の拠点病院に対する協力依頼の推進等について、ご検討・ご協力をお願いいたします。

# 都道府県の相談支援部会の状況と 継続的研修の実施状況に関する アンケート結果

# 都道府県の相談支援部会の状況等に関するアンケート概要

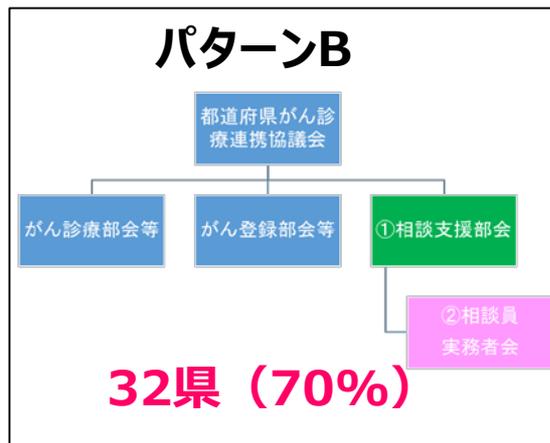
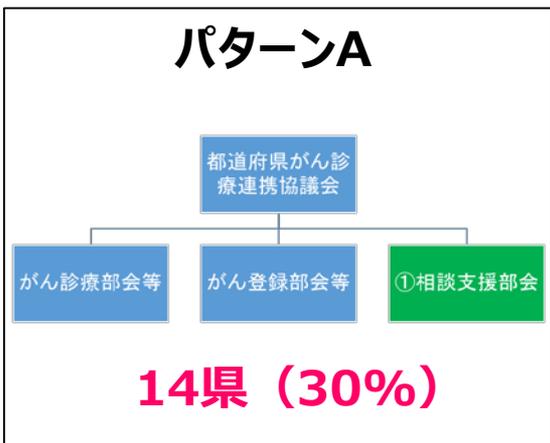
## 調査目的

- 1) 各県の「情報提供・相談支援」に関する部会や実務者会の活動により、
  - がん相談支援センターの運営そのものや、提供するサービスの質向上が図られているか
  - がん相談支援センターの質的な改善に向けた課題が、病院内や県内で議論・共有されているか
- 2) 各県での継続研修の実施状況や運営管理体制に関する実態把握を行う。

## 調査方法

- 情報提供・相談支援部会委員メーリングリストにて、WEBアンケートへの協力依頼を行い、2019年4月11日～4月22日にかけてアンケートを実施した。
- 回収率：都道府県拠点病院：47施設（100%）

- 都道府県のがん診療連携協議会の下に「情報提供・相談支援部会」に相当する部会は
  - ある → 46 / 47都道府県（98%）



# 部会または実務者会の活動により、 以下のようなことはあったか

	部会（パターンA）	実務者会（パターンB）
①県内のがん相談支援センターが活動しやすくなったという実感は？	「とても・少しある」 25/32県（76%）	「とても・少しある」 14/14県（100%）
②サービスの質が向上したという実感は？	「とても・少しある」 25/32県（76%）	「とても・少しある」 13/14県（93%）
③都道府県がん診療連携協議会に報告される仕組みは？	ある 32/32県(100%)	ある 13/14県（93%）
④各施設長等の責任者にも周知され、現場にも還元される仕組みは？	ある 23/32県（72%） ない 2/32県 わからない 7/32県	ある 8/14県（57%） ない1/14県 わからない 5/14県
⑤活動内容は？		
1.研修企画	1. 32県	1. 14県
2.PDCAチェックリストの作成	2. 26県	2. 12県
3.広報活動	3. 24県	3. 10県
4.地域のがん情報作成・更新	4. 20県	4. 9県
5.相互訪問・評価	5. 6県	5. 4県

# **2019年度 地域相談支援フォーラム開催予定**

# 2019年度地域相談支援フォーラム開催予定

開催日程	ブロック (主催県)	会場	テーマ
2019年09月28日 (土)	北海道・青森 (北海道)	市立函館病院 講堂	検討中
2019年10月06日 (日)	近畿 (兵庫県)	神戸市立医療セン ター中央市民病院	高齢がん患者の支援を考える (仮)
2019年11月09日 (土)	南関東 (神奈川県)	検討中	検討中
2019年11月09日 (土)	北関東甲信越 (茨城県)	つくば国際会議場	入院前からはじまる退院調整場面 における意思決定支援～がん患者と家 族にとってよりよい相談支援とは～
2019年11月16日 (土)	東北 (青森県)	青森新都市病院 大講堂	検討中
2020年02月29日 (土) 13:00～17:00	九州・沖縄 (佐賀県)	検討中	がんゲノム医療における相談対応につ いて (仮)
2020年03月07日 (土) 10:00～17:00	四国 (愛媛県)	愛媛県立中央病院 講堂	がんになってもその人らしい生活を支 えるために～治療も仕事もしたいけん～ (仮)

# 小児・成人拠点病院の 相談支援部会間での情報交換

# ブロック毎の小児・成人拠点病院の情報交換

## 【このセッションの趣旨】

- 小児／成人拠点の整備指針で、AYA世代患者について触れられている。
- 顔の見える関係の構築、今後の連携強化に役立てるとともに、他県での取り組みや好事例を知り、自県での活動や体制整備に活かす。

## 【各ブロックでのディスカッション内容の報告】

- ある県ある施設の先進的な取組を共有した（小児腫瘍科の医師が主体となり、小児・AYA支援センターを作り始めた
- 今後、ワークショップ等を開催していけるとよい
- 小児拠点がある県とない県とで、成人・小児の連携の差が出ている。また、そもそも成人拠点では、小児・AYAについて何をすればよいのかが十分に分かってない。
- 中国四国ブロックではテレビネットワーク繋いで小児の相談支援部会を年2回実施している。成人拠点の相談員もぜひテレビ会議に参加し、情報共有が図れればとのご提案をいただいた。

# 小児がん拠点病院連絡協議会

ブロック	医療機関名
北海道	北海道大学病院
東北	東北大学病院
関東甲信越	埼玉県立小児医療センター
	国立成育医療研究センター
	東京都立小児総合医療センター
	神奈川県立こども医療センター
東海・北陸	静岡県立こども病院
	名古屋大学医学部附属病院
	三重大学医学部附属病院
近畿	京都大学医学部附属病院
	京都府立医科大学附属病院
	大阪市立総合医療センター
	兵庫県立こども病院
中国・四国	広島大学病院
九州・沖縄	九州大学病院

**小児がん中央機関**  
 国立がん研究センター  
 国立成育医療研究センター

**小児がん拠点病院  
 連絡協議会**

- 連絡協議会 年2回
- 相談支援部会 年2回



**各都道府県協議会**